

令和5年1月5日

## 発生土置き場計画を解決する選択肢

審議会委員 大畑孝二

少なくとも重要湿地や自然環境問題などについての議論をするまでは、マトリックスにして、どれを選ぶかと言った、結論を出すような議論の進め方に反対します。町長からの諮問書に沿って、「JR 東海との協議に臨む方針について」を考え答申すべきと思います。

あの一帯には、どのような特性があり、本来どうあるべきで、町や町民にとってどのような活用が最も望ましいのかを検討すべきと思います。そうした議論の中で具体的な方針が出るようであれば答申に盛り込むことになろうかと思っています。

## 発生土置き場計画を解決する選択肢について（富田委員）

※ 町へ提出いただいたメール本文をそのまま掲載しております。以下、メール本文。

---

選択肢（マトリックス表）については、意見提出しません。

現段階において選択肢をパターン化してしまうのではなく、あくまでも「JR東海との協議に臨む方針」として、御嵩町にとって相応しいのは何か、選択肢を固定せず広く議論するのが大切だと考えるためです。

---